



えがお大東っ子

第24号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkkyu/egaodaitoukko/>

小・中連携教育の推進 —9年間を見据えた教育の取組み—

大東市では、大東市教育ビジョン後期基本計画のもと、確かな学力の育成をめざすため、小・中学校が力を合わせて授業方法の工夫改善や生徒指導の充実等について、さまざまな取組みを推進しています。全中学校区で実施している「『英語教育・外国語活動』に関する授業方法改善及び学習環境整備の取組み」に加え、各中学校区が研究テーマを決めて小中連携の推進に取り組んでいます。

諸福中学校区

特別支援教育の視点を取り入れた 授業方法の改善

大学の先生による定期的な学校巡回相談のもと、すべての子どもたちにとってわかりやすい授業（ユニバーサルデザイン）をめざして、学習環境や指導方法を工夫しています。授業づくりアンケートからも「授業前の準備」や「教材の活用の工夫」などが改善されていることがわかります。

小・中合同授業改善研究会



谷川中学校区

ICT 機器を活用した授業方法の改善

*ICT：情報通信技術

タブレット型パソコンや大型テレビ等を使い、児童・生徒の調べ学習の効率化とわかりやすい授業づくりに努めています。3校合同研修会では、授業でのICT活用法やネットモラルについて学びました。

ICT を活用した授業づくり



南郷・住道中学校区

生活規律・学習規律の確立

生徒指導の充実をめざして、校区校長会や小・中合同研修会の開催、中学校教職員による6年生の授業見学などを通して、小中間の指導にギャップがないようにしています。中学校生徒会による小学校への出前あいさつ運動や小学生が中学校の授業や行事を体験する取組みを実施しています。

小学生が中学校の授業を見学



四条・深野・大東中学校区

道徳教育の充実

小・中合同道徳研修会の様子

道徳教育充実に向け、授業改善に取り組むとともに小・中合同研修会や公開授業研究会を実施しました。また子どもたちの自尊感情を高め、規範意識や思いやりの心を育むため地域教育協議会と連携して子育て講演会やボランティア清掃なども行いました。



北条中学校区

アクセスプラン 6年生の中学校登校の取組み

第2回 6年生中学校登校の様子

以前から幼・小・中連携が行われていた地域で、3年前から始まった取組みです。9年間で子どもを育てるという共通認識のもと、連携を強めています。小学6年生が毎学期、北条中学校に登校し、中学校での生活を体験します。中学校入学への不安を解消し、期待や目標を持って入学できるきっかけとなるなど多くの成果が出ています。



一年間のまとめ ➡ 次年度への積み上げを！

3学期に入り、早一か月半が過ぎました。各校のホームページには、授業の様子や行事の様子などがタイムリーに発信されています。先生方の工夫や子どもたちの頑張りが伝わってきます。小学校のマラソン大会やスキー学習、中学校の職業体験など、貴重な体験から多くのことを学んだことでしょう。体験するにあたりお世話になった多くの方々に感謝いたします。

今年度は、「大東市教育ビジョン後期基本計画」がスタートし、これまでの「学び合う授業づくり」も第二ステージへと入り、一人ひとりが高まる「質の高い授業づくり」に取り組んでまいりました。「質の高い授業」は、子どもたちの自己肯定感を高め、豊かな人間関係を育み、安心して学べる学習集団・環境をつくります。それは問題行動の減少につながり、学習意欲の向上、学力向上につながります。「すべては授業づくりから」を意識し、授業改善もすべての子どもが高まることをめざして進んでいます。

各幼・小・中学校園では一年間のまとめの時期になりました。一年間の取組みを振り返り、成果や課題をまとめ、次年度はその積み上げのもとに計画を立てることになります。

また子どもたち一人ひとりの成長を仲間や先生、家族やお世話になった地域の方と認め合い、喜び合いたいものです。そして、次年度のさらなる成長のために、一年間の振り返りをし、新たな目標を決めましょう。

みんなで体験しませんか！



《地域ファミリースポーツ中央大会》

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのカローリングとキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいかでしょうか？

- ◆日 時：平成27年3月1日（日）午前9時30分～（受付：9時～）
- ◆場 所：大東市立市民体育館
- ◆種 目：カローリング、キンボール、ボール de ビンゴ
- ◆持ち物：体育館シューズ
- ◆参加費：無料 ※水分補給は各自でお願いします。



また、教育委員会では、本大会を運営していただいているスポーツ推進委員を随時募集しています。スポーツに興味のある方、一度スポーツ振興課までお問い合わせください。

<スポーツ振興課 電話：072-870-9106>

《大東市ニュースポーツフェスティバル》

障害者の社会参加の促進と生涯スポーツの推進をめざし、子どもから高齢者まで、誰もが参加できるスポーツの祭典を開催します。

第1部では、障害者スポーツ「シッティングバレーボール」（パラリンピック正式種目）のデモンストレーションを行います。競技の説明を聞きながら模範演技を見ていただき、その後、体験することもできます。

第2部は、ニュースポーツの紹介と体験コーナーです。カローリング、ショートテニス、シャッフルボード、ボッチャなどの他にも楽しいニュースポーツがいっぱい!!

技術やルールが簡単なので、みんなで一緒に参加してニュースポーツを楽しみましょう。

- ◆日 時：平成27年3月7日（土）午後1時～
- ◆場 所：大東市立市民体育館
- ◆持ち物：体育館シューズ ※水分補給は各自でお願いします。
- ◆参加費：無料



「ネットいじめ」防止 の取組みを紹介します！

インターネットにつながる子どもたち

平成 25 年度に内閣府が行った「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、携帯電話（スマートフォンを含む）の所有率は小学生で 36.6%、中学生で 51.9%でした。さらに、家庭用パソコンでのインターネットの利用やポータブルのゲーム機などでの「すれちがい通信」や「インターネット対戦」などの通信を含めると、かなり多くの子どもたちが日常的にインターネットを利用できる環境にあるといえます。そのため、インターネットを介してささいなことからトラブルやいじめに発展することがあります。このようなことを予防するために、各小・中学校ではいろいろな取組みが行われています。以下にその一例を紹介します。

小学校 4 年生「携帯・スマホを使ったコミュニケーションについて考えよう」

2 時間構成の授業を行いました。1 時間目は、スマートフォンを使って他の部屋にいる先生と SNS（注 1）でのやりとりを実演しながら、『ここに既読って出ると、相手を読んだかどうかわかるんだよ』とか、『イヤなこと書きちゃったら、怒りのスタンプがきて、それきり返事がこなくなったよ』と説明しました。子どもたちは、「怒ってるやん」「あやまらなアカン!」と、どうしたらこじれた人間関係を解決できるか一生懸命考えていました。そのあと、「SNS を使う時に気をつけないといけないことは何か」ということについて、クラスみんなで意見を出し合いました。



2 時間目は、参観日に保護者の前で、通信機器を使う時のルールについてビデオを見て考えました。子どもと保護者が一緒に通信機器の使用について考える機会になりました。

中学校 1 年生

「SNS に関する取扱い説明書を作ろう」

まず、SNS についての説明の後、情報モラルに関するクイズを 4 題しました。多くの生徒は一般的なモラルに関してはよく知っているようでしたが、よくわかっていない生徒も何人かいるようでした。

次に、SNS で一人の子を攻撃するやりとりの例をスクリーンに映し出されたパソコンの画面上で見て、SNS の「便利な点と困る点」を班で出し合いました。班ごとに意見をまとめたものをクラス全体で交流し、共通の意見については「これはクラスみんなで共有しよう」と確認して授業を締めくくりました。



注 1 SNS とは

「ソーシャルネットワーキングサービス」の略。予め登録した人同士の間で、携帯電話などを使ってお互いのメールアドレスを知らなくても短い文章や画像などでやりとりできるサービスのこと。

ネットいじめが起きる背景には、子どもたちの人権感覚が十分育っていないことも大きな要因として考えられます。子どもの実態に応じて「通信機器を持った時、気を付けること」についての学習を進める中で、お互いを大切にすることは、どういうことかを考える機会を作っていくことが大切と考えています。